



平成23年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月12日

上場会社名 ラオックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8202 URL http://www.laox.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 羅 怡文
 問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部長 (氏名) 山崎 陽子 (TEL) 03(6859)3800
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年12月期第2四半期の連結業績(平成23年1月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年12月期第2四半期	4,333	—	△865	—	△859	—	△1,149	—
22年12月期第2四半期	6,387	16.4	△138	—	△95	—	17	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年12月期第2四半期	△4.00	—
22年12月期第2四半期	0.07	0.06

当社は22年12月期より決算期を毎年3月31日から毎年12月31日に変更しております。これにより23年12月期第2四半期(1月から6月まで)と、比較対象となる22年12月期第2四半期(4月から9月)の月が異なるため、23年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年12月期第2四半期	7,627	4,946	64.9	17.20
22年12月期	9,118	6,090	66.8	21.17

(参考) 自己資本 23年12月期第2四半期 4,946百万円 22年12月期 6,090百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年12月期	—	—	—	0.00	0.00
23年12月期	—	—	—	—	—
23年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年12月期の連結業績予想(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	—	△990	—	△985	—	△1,333	—	△4.63

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

22年12月期は、決算期変更により9か月決算となっておりますので、23年12月期の連結業績予想の対前期増減率については記載しておりません。

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年12月期 2 Q	291,738,033株	22年12月期	291,738,033株
23年12月期 2 Q	4,067,259株	22年12月期	4,067,259株
23年12月期 2 Q	287,670,774株	22年12月期 2 Q	115,270,369株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第2四半期連結累計期間】	7
【第2四半期連結会計期間】	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	13
(5) セグメント情報	13
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	15

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成23年1月1日から6月30日までの6か月間)におけるわが国経済は、3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震とその後の原発事故の影響により、個人消費は購買意欲の低下や自粛ムードの広がりを見せ、企業活動においては、電力不足による事業活動の停滞や風評被害等、経済環境は依然として不透明な中で推移いたしました。

当社事業におきましても、一部生活防衛意識による防災用品の需要や電力不足による節電商品需要の高まりはあったものの、全体としては個人消費マインドの低下と海外からの観光客の激減等、第2四半期に入りましても当社国内事業におきましては非常に厳しい環境下での事業活動となりました。

また、当社は「国内店舗事業」「中国出店事業」「貿易仲介事業」の主要3事業に取り組んでおり、これまで「国内店舗事業」への依存度が高い状態にありましたが、今期以降3事業のバランスを早急にとるため、「中国出店事業」を強化すべく6月28日付で中国蘇寧電器との資本業務提携契約を締結いたしました。同時に、中期経営計画の修正版を公表し、事業基盤の安定化に向けて継続して取り組んでまいります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高43億33百万円(前年同期は63億87百万円、32.2%減)、営業損失8億65百万円(前年同期は1億38百万円の損失)、経常損失8億59百万円(前年同期は95百万円の損失)、四半期純損失11億49百万円(前年同期は17百万円の利益)となりました。

なお、前年同期比については、前連結会計期間に決算期の変更を行ったため、連結累計期間については、平成22年12月期連結会計年度の平成22年4月1日から平成22年9月30日(6ヶ月)まで、連結会計期間については、平成22年7月1日から平成22年9月30日(3ヶ月)までの比較を参考として記載しております。

事業の種類別セグメントの業績は、次の通りです。

① 物品販売事業

当事業部門におきましては、震災後の生活防衛意識の高まりによる防災用品の需要や電力不足による節電商品の需要の高まり等が一部あったものの、主要顧客である海外からの観光客の激減の幅が大きく、5月下旬以降回復基調にはあるものの、売上高の伸びは見られませんでした。

この結果、当第2四半期連結会計期間の売上高は、16億37百万円(前年同期は32億26百万円、49.2%減)となりました。

② 不動産賃貸事業

当事業部門におきましては、不採算所有物件の見直し及び改善を継続しており、売上高は1億77百万円(前年同期は1億57百万円、13.4%増)となりました。

③ その他の事業

当事業部門におきましては、中古ゴルフクラブの販売をしておりますが、震災の影響等により売上が伸び悩んだため、売上高は13百万円(前年同期は15百万円、10.2%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、76億27百万円(前連結会計年度末91億18百万円)となりました。

総資産の減少は、主に受取手形及び売掛金が1億50百万円、商品及び製品が3億91百万円、未収入金が2億12百万円、繰延税金資産が57百万円、有形固定資産が1億83百万円、敷金及び保証金が2億50百万円減少したことに加え、貸倒引当金(投資その他の資産)が1億36百万円増加したことによるものであります。

(負債)

負債合計は、26億80百万円(前連結会計年度末30億27百万円)となりました。

負債の減少は、主に短期借入金が3億円増加したものの、支払手形及び買掛金が4億50百万円、未払金が2億16百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産合計は、49億46百万円(前連結会計年度末60億90百万円)となりました。

純資産の減少は、主に利益剰余金が11億49百万円減少したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ17百万円増加し、5億35百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、3億12百万円の支出となりました。これらは主に、棚卸資産3億91百万円の減少、貸倒引当金1億39百万円の増加、減損損失94百万円の計上、差入保証金1億51百万円の減少、及び、売上債権の減少1億50百万円があったものの、税金等調整前四半期純損失10億91百万円を計上した他、仕入債務4億50百万円の減少があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、29百万円の収入となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入1億16百万円、敷金及び保証金の回収による収入27百万円、預り保証金の受入による収入19百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出1億25百万円、敷金及び保証金の差入による支出11百万円が、あったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、3億円の収入となりました。これは、短期借入れによる収入6億円と短期借入金の返済が3億円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成23年5月13日付けの「平成23年12月期 第1四半期決算短信」及び、同日公表いたしました「特別利益及び特別損失の計上並びに業績予想の修正に関するお知らせ」より変更はありません。

上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。なお、詳細につきましては、平成23年5月13日公表の「特別利益及び特別損失の計上並びに業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等の著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化が無いと認められる場合については、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用しております。

また、前連結会計年度末以降に経営環境等、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合については、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用しております。

④ 連結会社相互間の債権債務及び取引の相殺消去

連結会社相互間の債権と債務の相殺消去

当該債権の額と債務の額に差異が見られる場合には、合理的な範囲内で当該差異の調整を行わないで債権と債務を相殺消去しております。

連結会社相互間の取引の相殺消去

取引金額に差異がある場合で当該差異の重要性が乏しいときには、親会社の金額に合わせる方法により相殺消去しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

1. 会計処理基準に関する事項の変更

該当事項はありません。

2. 表示方法の変更

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	535,636	518,609
受取手形及び売掛金	345,724	496,422
商品及び製品	1,632,045	2,023,648
原材料及び貯蔵品	6,394	6,113
繰延税金資産	—	57,743
未収入金	116,985	329,921
1年内回収予定の差入保証金	129,555	130,713
その他	267,382	369,273
貸倒引当金	△2,994	△390
流動資産合計	3,030,730	3,932,056
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	807,012	1,003,357
車両運搬具（純額）	656	776
工具、器具及び備品（純額）	172,286	149,830
土地	6,443	20,943
建設仮勘定	4,700	—
有形固定資産合計	991,099	1,174,907
無形固定資産		
無形固定資産合計	67,170	68,162
投資その他の資産		
投資有価証券	81,534	86,844
長期貸付金	133,031	133,908
敷金及び保証金	3,514,193	3,764,559
その他	433,921	443,910
貸倒引当金	△632,609	△496,028
投資その他の資産合計	3,530,072	3,933,194
固定資産合計	4,588,341	5,176,265
繰延資産		
新株発行費	8,056	9,916
繰延資産合計	8,056	9,916
資産合計	7,627,128	9,118,237

（単位：千円）

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	319,194	769,242
短期借入金	300,000	—
未払金	297,690	514,530
未払費用	61,413	33,046
未払法人税等	31,148	6,402
ポイント引当金	14,271	38,971
その他	212,392	151,657
流動負債合計	1,236,111	1,513,850
固定負債		
長期預り保証金	650,408	682,590
繰延税金負債	16,395	19,963
退職給付引当金	311,656	331,449
役員退職慰労引当金	319,950	319,950
資産除去債務	119,531	131,087
その他	26,120	28,478
固定負債合計	1,444,062	1,513,520
負債合計	2,680,173	3,027,371
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,450,000	3,450,000
資本剰余金	2,768,958	2,768,958
利益剰余金	△846,598	303,162
自己株式	△425,972	△425,972
株主資本合計	4,946,387	6,096,148
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	567	△5,282
評価・換算差額等合計	567	△5,282
純資産合計	4,946,954	6,090,866
負債純資産合計	7,627,128	9,118,237

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)
売上高	6,387,167	4,333,310
売上原価	4,928,101	3,554,223
売上総利益	1,459,066	779,086
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	38,373	133,683
販売手数料	430,418	173,511
運搬費	25,766	42,570
減価償却費	33,550	54,232
給料及び手当	416,601	460,139
法定福利費	35,271	55,771
退職給付費用	57,161	42,063
賃借料	233,129	369,513
その他	326,955	313,337
販売費及び一般管理費合計	1,597,228	1,644,824
営業損失(△)	△138,162	△865,737
営業外収益		
受取利息	9,550	6,794
受取配当金	188	64
仕入割引	14,269	8,964
為替差益	20,729	—
その他	18,842	8,197
営業外収益合計	63,579	24,020
営業外費用		
支払利息	14,260	2,591
売上割引	3,875	3,347
為替差損	—	1,030
貸倒引当金繰入額	—	6,980
その他	2,596	4,326
営業外費用合計	20,731	18,276
経常損失(△)	△95,314	△859,993
特別利益		
敷金保証金返還差益	42,905	—
預り保証金返還免除益	—	41,667
役員退職慰労引当金戻入額	239,644	—
ポイント引当金戻入額	61,886	21,847
その他	56,376	8,850
特別利益合計	400,812	72,365

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)
特別損失		
減損損失	—	94,562
災害による損失	—	66,198
固定資産除却損	297	—
店舗整理損	29,640	—
貸倒引当金繰入額	31,038	130,886
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	188,931	—
その他	11,390	11,757
特別損失合計	261,298	303,405
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	44,199	△1,091,032
法人税、住民税及び事業税	6,351	4,553
法人税等調整額	20,449	54,175
法人税等合計	26,800	58,728
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	17,399	△1,149,761
少数株主利益又は少数株主損失(△)	—	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	17,399	△1,149,761

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	3,398,279	1,829,088
売上原価	2,607,839	1,567,888
売上総利益	790,439	261,200
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	21,405	48,297
販売手数料	247,161	35,287
運搬費	14,291	18,991
減価償却費	16,966	21,631
給料及び手当	208,300	225,000
法定福利費	17,501	31,194
退職給付費用	28,660	21,948
賃借料	122,931	181,612
その他	156,237	151,740
販売費及び一般管理費合計	833,456	735,704
営業損失(△)	△43,016	△474,504
営業外収益		
受取利息	5,505	1,857
受取配当金	42	59
仕入割引	6,629	3,065
為替差益	11,915	—
その他	12,142	3,539
営業外収益合計	36,234	8,522
営業外費用		
支払利息	7,515	1,550
売上割引	1,998	1,679
為替差損	—	52
その他	375	2,717
営業外費用合計	9,889	5,999
経常損失(△)	△16,670	△471,982
特別利益		
敷金保証金返還差益	63	—
預り保証金返還免除益	—	41,667
貸倒引当金戻入額	1,608	3,587
ポイント引当金戻入額	6,280	—
その他	—	8,850
特別利益合計	7,952	54,106
特別損失		
事業再編損	5,715	—
特別損失合計	5,715	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△14,433	△417,875

(単位:千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
法人税、住民税及び事業税	4,017	2,686
法人税等調整額	△491	△461
法人税等合計	3,526	2,225
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△17,960	△420,101
少数株主損失(△)	—	—
四半期純損失(△)	△17,960	△420,101

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	44,199	△1,091,032
減価償却費	50,813	63,453
減損損失	—	94,562
貸倒引当金の増減額(△は減少)	31,557	139,185
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△35,882	△19,793
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△239,644	—
受取利息及び受取配当金	△9,738	△6,859
支払利息	14,260	2,591
投資有価証券売却損益(△は益)	—	874
固定資産除却損	297	—
店舗整理損	29,640	—
退店損失引当金の増減額(△は減少)	△12,000	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	188,931	—
売上債権の増減額(△は増加)	△32,592	150,697
たな卸資産の増減額(△は増加)	△817,866	391,322
仕入債務の増減額(△は減少)	384,967	△450,047
差入保証金の増減額(△は増加)	9,578	151,690
未収入金の増減額(△は増加)	165,550	22,618
長期未払金の増減額(△は減少)	△115	△231
預り保証金の増減額(△は減少)	△42,879	△63,216
その他	△428,707	307,376
小計	△699,628	△306,808
利息及び配当金の受取額	1,566	466
利息の支払額	△12,010	△1,285
法人税等の支払額	△9,974	△5,241
営業活動によるキャッシュ・フロー	△720,047	△312,869
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△153,250	△125,932
有形固定資産の売却による収入	—	116,047
無形固定資産の取得による支出	△24,652	△6,699
投資有価証券の売却による収入	—	2,327
関係会社株式の取得による支出	△70,000	—
長期貸付金の回収による収入	520	897
敷金及び保証金の差入による支出	△298,060	△11,592
敷金及び保証金の回収による収入	341,501	27,408
預り保証金の受入による収入	—	19,500
その他	6,828	7,938
投資活動によるキャッシュ・フロー	△197,112	29,896

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	832,558	600,000
短期借入金の返済による支出	△928,800	△300,000
自己株式の取得による支出	△261,475	—
株式の発行による収入	2,900,000	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,542,282	300,000
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,625,122	17,026
現金及び現金同等物の期首残高	276,830	518,609
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,901,952	535,636

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

（追加情報）

前第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「物品販売事業」、「不動産賃貸事業」及び「リサイクル商品販売業」等を営んでおり、各事業部門は取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、取り扱う製品やサービス別のセグメントから構成されており、「物品販売事業」、「不動産賃貸事業」及び「その他」の3つを報告セグメントとしております。

「物品販売事業」は、家庭用電気製品、情報機器、楽器、ホビー関連商品、各種ソフト等の販売を行っております。「不動産賃貸事業」は、店舗等の賃貸を行っております。「その他事業」は、中古ゴルフ用品を販売するリサイクル商品販売業等を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

（単位：千円）

	物品販売事業	不動産賃貸事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	6,024,700	316,601	45,865	6,387,167	—	6,387,167
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2,220	—	2,220	(2,220)	—
計	6,024,700	318,822	45,865	6,389,387	(2,220)	6,387,167
セグメント利益	244,739	△53,283	△5,355	186,100	(324,262)	△138,162

(注) 1 セグメント利益の調整額△324,262千円は、各報告セグメントに分配していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日）

（単位：千円）

	物品販売事業	不動産賃貸事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	3,951,148	357,880	24,281	4,333,310	—	4,333,310
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2,220	—	2,220	(2,220)	—
計	3,951,148	360,101	24,281	4,335,531	(2,220)	4,333,310
セグメント利益	△489,073	△38,852	△3,246	△531,172	(334,565)	△865,737

- (注) 1 セグメント利益の調整額△334,565千円は、各報告セグメントに分配していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

前第2四半期連結会計期間（自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日）

（単位：千円）

	物品販売事業	不動産賃貸事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	3,226,375	156,392	15,512	3,398,279	—	3,398,279
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,110	—	1,110	(1,110)	—
計	3,226,375	157,502	15,512	3,399,389	(1,110)	3,398,279
セグメント利益	169,936	△52,947	△2,013	114,976	(157,992)	△43,016

- (注) 1 セグメント利益の調整額△157,992千円は、各報告セグメントに分配していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第2四半期連結会計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

（単位：千円）

	物品販売事業	不動産賃貸事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	1,637,772	177,383	13,931	1,829,088	—	1,829,088
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,110	—	1,110	(1,110)	—
計	1,637,772	178,494	13,931	1,830,198	(1,110)	1,829,088
セグメント利益	△245,682	△22,492	△1,610	△269,786	(204,718)	△474,504

- (注) 1 セグメント利益の調整額△204,718千円は、各報告セグメントに分配していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)

(固定資産に係る重要な減損損失)

「物品販売事業」及び「不動産賃貸事業」のセグメントにおいて、建物及び構築物を減損しております。なお、当該減損損失の計上額は、「物品販売事業」が49,075千円、「不動産賃貸事業」が45,487千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。